

感染国が当初と大幅に変わってきています 中南米が増加

下記の表は 4月、6月、8月と2カ月おきの感染者の推移です。
 ここでどうしても腑に落ちないのは日本のCPR検査の実施率です。
 日本ではCPR検査での結果判明まで3日かかり、検査費用が4万円と報告されています。
 ブラジルでは毎日6万人の感染者増という報告ですので、仮に陽性率が10%として60万人の検査を毎日行っていることとなります。また費用も60万人×4万円=240億円が毎日必要、
 そういうことはあり得ないと思うのですが。検査方法が異なっているのではないかとするとこの報告されている感染者数は本当に正しいの？
 確かに状況として感染が勢いを増していることは分かるけど、検査方法や信頼性、
 真の感染者数はどうなっているんだろう？
 それにしても4月は欧州で拡散していたのが8月には中南米とインドに移ってきました。
 メキシコの致死率が10%を超えているのが怖いです。

世界の感染状況、国別変化

4/9 感染者1,421,900 (82172)				6/28 感染者994万人 (498,426)				8/17 感染者2,167万人 (775,275)			
国	感染者	死亡者	致死率	国	感染者	死亡者	致死率	国	感染者	死亡者	致死率
米国	399,929	12,910	3.2%	米国	2,510,151	125,539	5.0%	米国	5,403,361	170,052	3.1%
スペイン	141,942	14,045	10%	ブラジル	1,313,667	57,070	4.3%	ブラジル	3,340,197	107,852	3.2%
イタリア	135,586	17,127	13%	ロシア	626,779	9,858	1.6%	インド	2,647,663	50,921	1.9%
フランス	110,070	10,343	9.4%	インド	528,859	16,095	3.0%	ロシア	920,719	15,653	1.7%
ドイツ	107,663	2,016	1.9%	英国	331,727	43,598	13.1%	南アフリカ	587,345	11,839	2.0%
中国	82,783	3,337	4.0%	チリ	267,766	5,347	2.0%	ペルー	525,162	26,075	5.0%
イラン	62,589	3,872	6.2%	ペルー	275,989	9,135	3.3%	メキシコ	522,162	56,757	10.9%
英国	55,949	6,171	11%	スペイン	248,469	28,341	11.4%	コロンビア	468,332	15,097	3.2%
トルコ	34,109	725	2.1%	イタリア	240,136	34,716	14.5%	チリ	385,946	10,452	2.7%
スイス	22,253	821	3.7%	イラン	220,180	10,364	4.7%	イラン	343,813	19,639	5.7%

日本国内

都道府県別感染者数 ワースト10

8月17日 23:59時点 **56857人**



首都圏、関西圏、そして北海道、福岡、沖縄の感染者数が増えています。

国内感染者 **56057人**(+ 633人)

退院・療養解除 **40794人**(+1079人)

死者 **1118人**(+ 15人)

(8月17日午後10時現在、カッコ内は当日判明分)

空港検疫での感染確認 **712人**(+ 12人) 死者 **1人**

クルーズ船感染者 **712人** 死者 **13人**

チャーター機 **15人**

総数 **57496人**(+ 645人)

死者 **1132人**(+ 15人)

新型コロナウイルスに加え世界中で**異常気象発生**です。

このHPでも、たびたび報告していますが、最近といってもここ3、4年は、本当に前例のない異常気象にたびたび遭遇します。3年前は北部九州大洪水、今年は人吉の球磨川での洪水災害、同時期、韓国釜山と中国の長江でも大洪水。球磨川大洪水の時はしばらく熊本産のアサリがスーパーの店頭から消えました。異常気象は世界レベルで起こっており、シベリアでの気温が32℃でこれでは北極海の氷も融けだすでしょうし、生態系にも大きな影響があるはずで。現にサンマ漁が全くダメで1匹2千円という話です。今年の2月はコロナ禍直前のシカゴで華氏マイナス16度＝マイナス24℃でした。1月には夏に起こるトルネードがオハイオ州で発生しました。(既報)そして今年の日本の8月は異常な暑さです。



会社のデジタル温度計を持ち出し道路で測定すること3分、25℃から一気に41℃まで上昇しました！暑い！

8月12日のTV気象予報で日本各地の最高気温を伝えていました。東京は35℃の予想でしたが、実際に会社の前の道路で気温測定すると、右の写真のように42.9℃でした。気象予報の気温は観測用の百葉箱内の気温で、炎天下の道路上はそれより約10℃高いのが実際です。18日には浜松で最高気温41.1℃ということでしたが炎天下では50℃を超えていたはずで。車のボンネットなどが素手では触れない経験をした人も多いはず。公園の遊具も危険！

百葉箱は地面が芝生で風通しの良い日陰で地上から1.5mのところの気温を測定します。



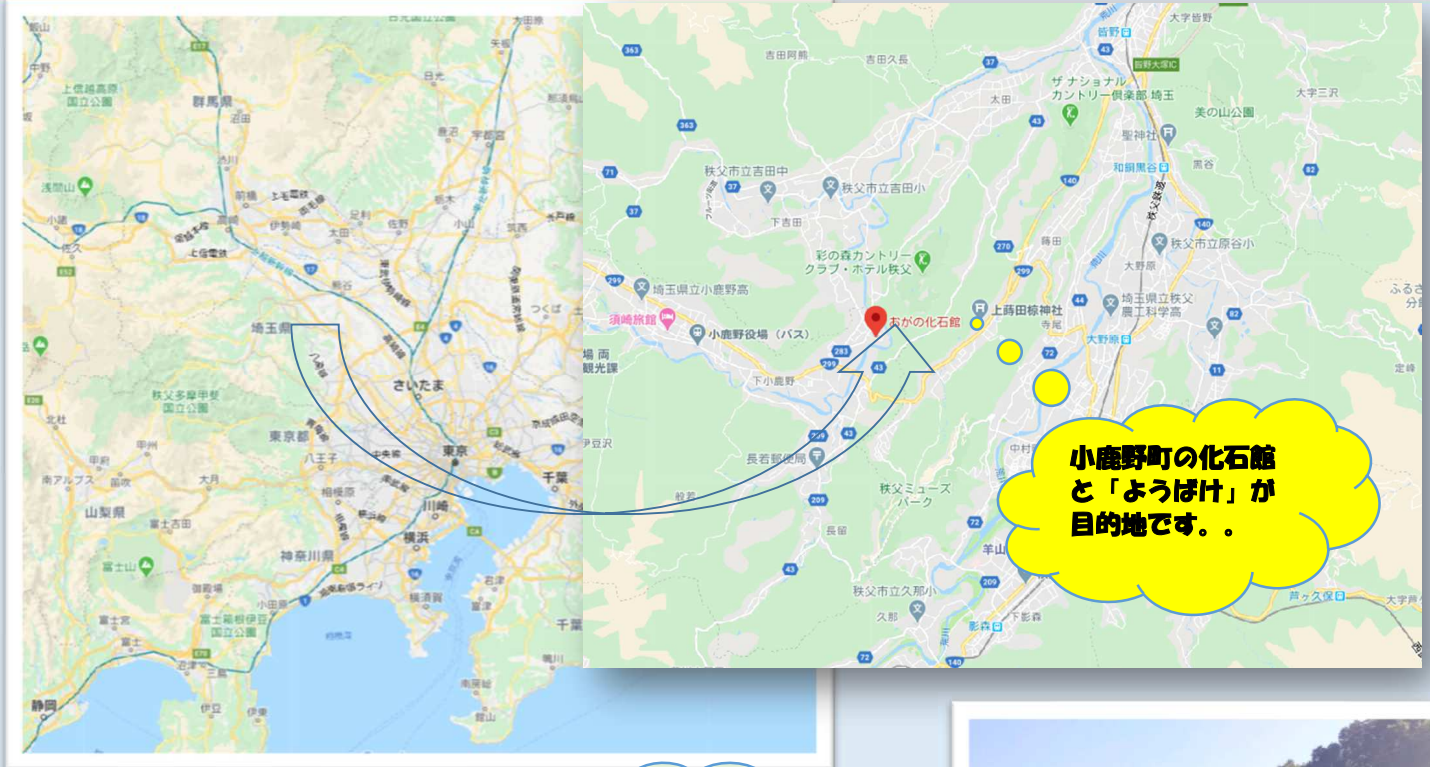
気象測定用百葉箱

シカゴ、マツ社長の自宅の前の大木も8日の竜巻直撃で根元からぼっきり折れました。異常気象です。



化石採取 3密を避け、夏休みの1日 秩父へ化石探しに

<https://www.saitamatsuri.jp/area/chichibu/ogano/yobake/>



小鹿野町の化石館と「ようばけ」が目的地です。。



このきれいな河原に太古の化石が埋もれているのです。



これが1500万年前の地層むき出しのようばけ



ずいぶん新しいのう！

5億年前の三葉虫の化石



5千万年前の2枚貝の化石



3億年前のウミウリの化石



3億5千万年前の巻貝の化石



コロナ禍は半年、化石は1億年前、時間にはいろんな尺度があることを実感

3億年前の化石を見つけようと、挑戦しましたが、あまりの暑さに退散しました。広大な化石埋蔵地域にたった一人。どこかに眠っている太古の化石と会話できた感じです。残念ながらこの化石の写真は私のコレクションからの紹介です。発見場所は米国ユタ州とコロラド州です。昔は海の底だったんですね。